

第5章 先導プロジェクト

第4章で掲げた様々な基本施策のうち、特に計画期間の前期に力を入れて優先的・重点的に取り組む施策を「先導プロジェクト」として位置づけ、個別の事業内容を具体的に記載します。

PROJECT 1 6次産業化の推進

【事業内容】

事業者や経営体等が生産から流通・販売までを一貫して行う6次産業化を推進します。生産物の持つ価値をさらに高めることにより、事業の活性化、所得の向上につなげていきます。

① 6次産業化を担う人材の確保・育成

先進的に6次産業化に取り組む事業者等の経験を学習する研修会等の実施を通じて、経営感覚を有する6次産業化の新たな人材確保や実践力の高い担い手の育成を図ります。

② 推進のための仕組みづくり

地域が一体となった6次産業化を促進するため、異業種間による情報交換、ニーズ把握・マッチングの実施、消費者ニーズを把握するための仕組みづくりを推進します。

【関係機関の役割】

【行政】国・愛知県：「六次産業化・地産地消法」に基づく総合化事業計画の認定、
6次産業化交付金による支援、相談窓口の設置

半田市：人材育成研修会の実施、国県支援策の活用推進、情報提供、支援体制の整備

【JA】技術的支援、販路の相談・支援

【実施時期】

令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度以降
①6次産業化を担う人材の確保・育成			事業実施		
②推進のための仕組みづくり			情報提供、事業内容の支援		

PROJECT 2 中心市街地の魅力向上

【事業内容】

令和9年度に竣工予定のＪＲ半田駅の鉄道高架化と、それに伴う高架下空間の活用を見据え、名鉄知多半田駅からＪＲ半田駅にかけて中心市街地の一体的な利用を推進するため、イベントのみならず、恒常的に人を集める仕掛けづくり、認知度向上のためのきっかけづくりを進めます。

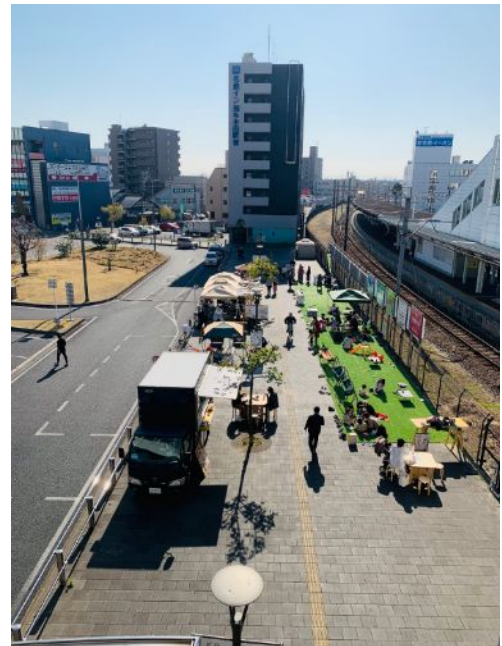
市民や若手事業者を中心に自らが考えた「まちを楽しむ」アイデアを形にし、中心市街地の魅力向上を図ります。

【関係機関の役割】

〔行政〕半田市：公共空間等の活用推進、情報提供

〔商工会議所（まちづくり推進室）〕事業のコーディネート

〔事業者〕〔市民〕イベントの企画・立案及び実施



【実施時期】

令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度以降
事業の 準備・調整 事業実施	事業実施 情報提供		事業内容の 見直し・充実		
→					

PROJECT 3 新たな工業用地による経済効果の創出

【事業内容】

企業立地のニーズが高い内陸部において工業団地を造成することで、企業の事業拡大や BCP 対策が可能となり、市内外企業の新たな誘致が可能となります。

製造業のほか、今後の産業構造や経済状況を注視しながら誘致する業種を選定し、積極的な誘致活動により新たな企業立地を推進します。また、市内企業の事業拡大等のニーズを的確に把握し、市外への流出抑止を図ります。

①石塚地区における工業団地造成

市内の工業系用途地域は既に利用可能な用地がないことから、企業立地のニーズが高い内陸部において工業団地を造成することで、市内企業の事業拡大や B C P 対策が可能となり、市外企業の新たな企業誘致が可能となります。

②分譲地の企業誘致

税収の増加及び新たな雇用創出による定住人口の増加を図るため、その効果が大きい製造業のほか、今後の産業構造や経済状況に注視しながら誘致する業種を選定し、積極的なセールス活動により新たな企業立地を促進します。また、市内企業の事業拡大等のニーズを的確に把握し、企業の市外への流出抑止を図ります。

【関係機関の役割】

〔行政〕 半田市：地権者を含めた地元調整、愛知県との事業調整、関連事業の実施、企業誘致

愛知県：本事業の実施、企業誘致

〔商工会議所〕 会員に本事業の情報提供、立地を希望する企業の窓口

【実施時期】

令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度以降
①石塚地区における工業団地造成 関係機関協議	→	造成工事、附帯工事			分譲開始 →
②分譲地の企業誘致 業種の選定、ニーズ把握	→	PR ツール作成、企業誘致（流出抑止）			→

PROJECT 4 半田運河蔵のまちエリアにおける魅力向上と賑わいの創出

【事業内容】

半田運河周辺における海運・醸造、近代化等の歴史・文化に根差した観光振興と、優れた景観の保全・形成の促進や J R 半田駅周辺における新しいまちづくりとを結びつけることにより、エリアの魅力と認知度の向上を図り、来訪者の増加による賑わいの創出を目指します。

①魅力を創出する景観・空間の形成

- ・半田運河との調和が図られた J R 半田駅駅舎（右イメージ図）の整備や鉄道遺産の配置による歴史が感じられる空間の整備
- ・ J R 半田駅前土地区画整理事業エリアにおける道路・建物の更新と無電柱化
- ・ J R 半田駅前地区計画の策定、景観形成重点地区の景観形成
- ・「半田市ふるさと景観づくり事業補助金」制度による景観の保全及び形成の促進



②まち歩きにおける立ち寄り先の充実

- ・ J R 半田駅前土地区画整理事業における商業施設の誘致等
- ・ J R 半田駅周辺における観光案内機能の整備
- ・ J R 武豊線鉄道遺産の展示整備（ J R 半田駅跨線橋、蒸気機関車、油庫、展示資料室）
- ・旧中荻半六邸及び半六庭園による誘客機能向上の取組の推進
- ・「半田市商業施設助成事業補助金」制度による店舗誘致の促進
- ・半田赤レンガ建物の魅力向上による半田運河周辺エリアとの回遊促進

③半田運河周辺ならではのイベント開催

- ・半田運河 HOTORI イベント
（Canal Night、HOTORI brunch（右写真）等）
- ・季節ごとの蔵のまちイベント（萬三の白モッコウバラ祭、半田運河の鯉のぼり、はんだ市民盆踊り大会等）
- ・はんだ山車まつり
- ・半田運河周辺における芸術・文化振興行事の開催・誘致（まちなか de アート等）



④半田運河周辺の歴史や醸造文化等に根差した食の観光の推進

- ・ミツカン創業時の粕酢開発の歴史を活かし、尾州早すしを象徴的存在とした「すしのまち半田」のブランド形成
- ・酒、酢、味噌、たまり等、半田運河を中心とした醸造特産品を活用し、上質な料理を提供する市内の店舗「醸造レストラン」を通じた醸造文化ファンづくり

【関係機関の役割】

〔行政〕半田市：J R 半田駅前土地区画整理事業の推進、J R 武豊線高架下空間活用整備計画の策定、観光イベントの企画調整、はんだ山車まつりへの補助・支援、景観形成に係る支援

愛知県：J R 武豊線半田駅付近連続立体交差事業の推進

〔観光協会〕観光イベントの企画調整、事業者との調整

〔商工会議所〕商業施設助成事業の推進

〔事業者〕〔市民〕景観形成への寄与、観光イベントへの出店、はんだ山車まつりへの参画、観光・文化推進活動

【実施時期】

令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度以降
JR半田駅前土地区画整理事業			駅前広場工事		
JR武豊線高架下空間活用事業		高架下空間活用の検討			高架下空間の整備工事
JR武豊線半田駅付近連続立体交差事業					
半田市ふるさと景観づくり事業補助金制度による景観の保全及び形成の推進					
半田運河蔵のまち・HOTORI イベント開催					
第九回はんだ山車まつり準備・開催 → 10月				第十回はんだ山車まつり準備・開催 → 10月	
食の観光推進(すし・知多牛・JOZO レストラン)					